

# 教職員情報

## 理学部附属 植物園のいきものたち 第23回



▲写真1 ゲンペイシダレモモ

5月となり早くも立夏をむかえましたが、今月はバラ科の春の花々を紹介します。

バラ科は世界で約126属3400種が知られている、大きなグループです。なじみ深いのは、サクラ類、ウメ、モモ、キイチゴ、イチゴ類(オランダイチゴ)、ノイバラ(蔓性のバラ類)などでしょう。これらに共通するバラ科の特徴は、大きく目立つ5枚の花弁と、数え切れないほどの雄しべです。

「バラ」というとまず、花束につかわれる、赤い花弁が花の中央で折り重なるように咲くものが思い浮かびます。ネット検索ではローテローゼという品種などが挙がってきましたが、これらはバラ科バラ属に由来する園芸品種です。花弁はもともと外側の5枚だけで、内側の花弁は交配によって雄しべから変化したものです。つまり、あの「赤いバラ」は品種の代表格ですが、バラ属やバラ科の特徴は捉えづらくなっているのです。

植物園には自生種から園芸品種まで多数のバラ科植物が植栽され、2月号のツバキ科と同様にバラ科ゾーンを形づくっています。その他にも何種かが自生しています。今回はその中から、ゲンペイシダレモモ(*Prunus persica* (L.) Batsch、写真1)、マメナシ(*Pyrus calleryana* Dence、写真2)、カリン(*Chaenomeles sinensis* (Tohin) Koehne、写真3:農学部車輛入口の並木道にて撮影)を紹介し



▲写真2 マメナシ

### ●植物園のバラ科植物リスト(抜粋)

ヤマザクラ、オオシマザクラ、イトザクラ(シダレザクラ)、ウウミズザクラ、ゲンペイシダレモモ(サクラ属)、ヒボケ、サラサボケ、カリン(ボケ属)、ヘビイチゴ(ヘビイチゴ属)、ヤマブキ(ヤマブキ属)、コゴメウツギ(コゴメウツギ属)、ユキヤナギ、コデマリ(シモツケ属)、カナメモチ、オオカナメモチ(カナメモチ属)、クサイチゴ、フユイチゴ(キイチゴ属)、ビワ(ビワ属)、マメナシ(ナシ属)など



▲写真3 カリン